たんぽぽぐみだより

2021年1月発行

尚徳福祉会　おぐら保育園

　年末年始はどのようにお過ごしになられたでしょうか。保育園では、お休み中の楽しかった出来事を嬉しそうに話す子どもたちの元気な声とともに新年のスタートです。気持ちも新たに、寒さに負けず、大人も子どもも生活リズムを整えて体調管理にも気をつけたいですね。今年度もあと3カ月。一日一日を大切に、元気に楽しく過ごしていきたいと思います。

　新しい年がみなさまにとって幸多い一年となりますよう、心よりお祈りいたします。

♪お散歩大好き♪

お外遊びよりもお部屋遊びが好きなお友だちも、お散歩になると「行く～！」、「やった～！」といって目を輝かせています。
ちゅうりっぷ組さんとお散歩に行く時は、常に自分たちが道路側を歩くように場所をチェンジする気遣いもできるようになってきました。長い距離を歩けるようにもなってきて、お兄さん、お姉さんらしさを発揮しています。

あいうえお

文字を書くことに興味を持つ子が増えてきました。ひらがな表を見ながら一生懸命に書いている姿や、「先生書けたよ！」と嬉しそうに見せてくれる姿はとても微笑ましいです。
子どもにとって自分の名前やお友だちの名前、自分の気持ちを書けるようになることは大きな喜びです。ペーパーレスの時代ですが、お手紙コーナーも活用しながら書くことを大切にしていきたいと思います。

上手にできました

鏡もち作りでは、いつも食べているお米ともち米を見比べて、色や粒の大きさの違いに気づき、蒸したてのもち米を見て香りを味わうことからスタートしました。小さな米粒がふっくら蒸しあがる様子は新鮮な驚きだったようで、「うわぁ～」と声があがっていました。
いよいよ鏡もち作りになると、おもちの感触を存分に楽しむ子、イメージを形にしようと一生懸命な子、独創的なアイデアを発揮する子など、どの子も楽しんで作っていました。

たのしいね

気の合うお友だちと遊ぶだけでなく、好きな遊びを通してお友だちとの交流が広がってきました。竹馬や、大縄跳びに消極的だった子も、お友だちの楽しそうな姿にやってみようという気持ちが芽生え、あそびの輪も広がっています。
二月は発表会があります。あそびを通して、みんなで力を合わせる楽しさや、表現する楽しさを感じながら本番を迎えたいと思います。